

平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年5月14日
東

上場会社名 株式会社リアルワールド 上場取引所
 コード番号 3691 URL <http://realworld.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 誠晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 東本 和人 (TEL) 03-5114-3580
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	1,604	—	59	—	58	—	7	—
26年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 17百万円(—%) 26年9月期第2四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	2.70	2.68
26年9月期第2四半期	—	—

(注) 当社は第2四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第2四半期の記載及び平成27年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	3,306	1,210	34.5
26年9月期	2,088	1,130	54.1

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 1,139百万円 26年9月期 1,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	44.6	300	53.2	300	53.3	150	35.5	55.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社マークアイ、除外 1社(社名) —

(注) 詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期2Q	2,706,500株	26年9月期	2,704,400株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	—株	26年9月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期2Q	2,705,534株	26年9月期2Q	—株

(注) 当社は第2四半期の業績開示を平成27年9月期より行っているため、平成26年9月期第2四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期決算短信提出日現在において当社グループが判断したものであります。当社は、第2四半期の業績開示を当連結会計年度より行っているため、前年同四半期との対比は行っていません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げの影響が一段落し、円安・原油安等も手伝って、国内景気は順調な回復傾向を見せております。その一方で、消費支出や実質雇用者所得は芳しくなく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループを取り巻く環境といたしましては、クラウドソーシング市場においては、昨今社会的認知度が飛躍的に上がってきており、平成26年における市場規模は約400億円、平成30年においては、約1,750億円を超えるという予測が出ております(㈩矢野経済研究所)。当社グループはこの成長市場において提携戦略を推進し、当社グループの「CROWD」における業務領域を拡大していく所存です。

加えて、前期同様、インターネット上のポイントの認知も進んでいると考えております。国内におけるポイント・マイレージの年間発行額の推移は、平成26年においては、8,994億円相当であり、平成30年には1兆円規模にまで成長するものと予測されております(㈩野村総合研究所)。

また、当第2四半期連結累計期間において当社は、知的財産権に関わる事業を展開する、株式会社マークアイ(以下「マークアイ」)を子会社化し、クラウド事業の領域を拡大致しました。マークアイの事業ドメインである知的財産権管理の周辺分野においては、機密性の観点から労働集約的な業務が多数存在しております。ここに蓄積されているマークアイのノウハウと、当社のクラウドソーシングの技術とリソースをかけあわせて、新規市場へ開拓を進めてまいります。

当社グループはこのような事業環境のもと、クラウド事業及びポイントエクステンジ事業を中心として事業を展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,604,332千円、営業利益は59,509千円、経常利益は58,623千円、四半期純利益は7,306千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

a. クラウド事業

当第2四半期連結累計期間においては、クラウドソーシングサービスにおける提携戦略を積極的に行い、当社の運営する「CROWD」における作業領域の幅を広げていくことで、クラウドソーシング市場の新規開拓を進めております。その中で、将来的にさらに拡大していく受注に対応し得る生産力・品質を確保していくため、より効果的・効率的なシステム的设计・調整に注力致しました。また、当第2四半期連結会計期間より連結子会社であるマークアイの業績を連結しております。

この結果、売上高は1,588,077千円、セグメント利益は290,076千円となりました。

b. ポイントエクステンジ事業

当第2四半期連結累計期間においては、ユーザーによる活発なポイント利用を促すため、引き続き、一部、交換手数料を無料にする等の施策を行っております。

この結果、売上高は16,254千円、セグメント利益は20,418千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計会計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、118,373千円増加し、2,089,055千円となりました。これは主として、株式会社マークアイ(以下「マークアイ」)を連結したことに伴う資産の増加によるものであります。そうした要因により、仕掛品が70,414千円増加しております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、1,092,000千円増加し、1,209,489千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う資産の増加、及び本社の移転に伴うものであります。そうした要因により、のれんが482,325千円、敷金及び保証金が219,691千円、及び建物附属設備等の有形固定資産が162,544千円増加し

ております。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,218,544千円増加し、3,306,716千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、646,325千円増加し、1,591,482千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う負債の増加、及び借入金・社債による資金調達を行ったものであります。そうした要因により、買掛金が168,178千円、短期借入金が230,000千円増加しております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、491,558千円増加し、504,314千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う負債の増加、及び借入金・社債による資金調達を行ったものであります。そうした要因により、長期借入金が187,161千円、社債が261,200千円増加しております。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、80,660千円増加し、1,210,919千円となりました。これは主として、マークアイを連結したことに伴う純資産の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は前連結会計年度末より249,900千円減少し、974,855千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により使用した資金は、39,936千円となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益52,157千円に対し、マークアイを含めた債権金額が86,619千円増加していることによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は、871,321千円となりました。

これは主として、マークアイ株式の取得に伴う507,811千円、投資有価証券の取得に伴う62,390千円の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動により得られた資金は、661,305千円となりました。

これは主として、社債による資金調達330,572千円、及び借入金による資金調達350,000千円を理由としたものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より新たに株式を取得した、株式会社マークアイを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,224,755	974,855
売掛金	500,167	762,626
仕掛品	—	70,414
貯蔵品	14,343	18,207
繰延税金資産	153,333	169,553
その他	79,595	95,208
貸倒引当金	△1,514	△1,812
流動資産合計	1,970,682	2,089,055
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,893	118,793
その他(純額)	4,321	54,966
有形固定資産合計	11,215	173,760
無形固定資産		
のれん	23,510	505,835
ソフトウェア	3,139	139,382
その他	528	15,261
無形固定資産合計	27,177	660,480
投資その他の資産		
投資有価証券	1,000	63,390
敷金及び保証金	69,149	288,841
繰延税金資産	8,421	1,352
その他	7,452	28,798
貸倒引当金	△6,927	△7,133
投資その他の資産合計	79,096	375,248
固定資産合計	117,489	1,209,489
繰延資産		
社債発行費	—	8,171
繰延資産合計	—	8,171
資産合計	2,088,171	3,306,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,131	228,310
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	—	61,430
1年内償還予定の社債	20,000	87,800
未払金	103,620	126,054
未払法人税等	24,515	55,172
未払消費税等	66,296	55,788
ポイント引当金	415,401	394,742
その他の引当金	—	26,016
その他	55,191	156,168
流動負債合計	945,157	1,591,482
固定負債		
長期借入金	—	187,161
社債	10,000	271,200
その他	2,755	45,953
固定負債合計	12,755	504,314
負債合計	957,912	2,095,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,162	412,107
資本剰余金	403,220	404,165
利益剰余金	313,364	320,671
株主資本合計	1,127,747	1,136,944
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,341	2,376
その他の包括利益累計額合計	2,341	2,376
少数株主持分	169	71,599
純資産合計	1,130,259	1,210,919
負債純資産合計	2,088,171	3,306,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,604,332
売上原価	849,664
売上総利益	754,668
販売費及び一般管理費	695,158
営業利益	59,509
営業外収益	
受取利息	85
差入保証金回収益	105
為替差益	2,043
その他	294
営業外収益合計	2,528
営業外費用	
支払利息	2,540
支払保証料	506
その他	366
営業外費用合計	3,413
経常利益	58,623
特別損失	
本社移転費用	3,235
リース解約損	1,488
固定資産除却損	1,742
特別損失合計	6,466
税金等調整前四半期純利益	52,157
法人税、住民税及び事業税	33,454
法人税等調整額	1,624
法人税等合計	35,079
少数株主損益調整前四半期純利益	17,078
少数株主利益	9,771
四半期純利益	7,306

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	17,078
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	41
その他の包括利益合計	41
四半期包括利益	17,120
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	7,340
少数株主に係る四半期包括利益	9,779

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	52,157
減価償却費	13,586
のれん償却額	17,881
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△471
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△20,659
受取利息及び受取配当金	△85
支払利息	2,540
差入保証金回収益	△105
本社移転費用	3,235
リース解約損	1,488
固定資産除却損	1,742
売上債権の増減額(△は増加)	△86,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,372
仕入債務の増減額(△は減少)	27,844
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,179
その他	23,563
小計	△22,451
利息及び配当金の受取額	85
利息の支払額	△2,540
法人税等の支払額	△15,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△118,049
無形固定資産の取得による支出	△29,547
投資有価証券の取得による支出	△62,390
敷金の差入による支出	△155,269
敷金及び保証金の回収による収入	1,746
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△357,620
連結子会社株式の追加取得による支出	△150,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△871,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△8,352
社債の発行による収入	330,572
社債の償還による支出	△10,000
株式の発行による収入	1,890
リース債務の返済による支出	△2,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	661,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△249,900
現金及び現金同等物の期首残高	1,224,755
現金及び現金同等物の四半期末残高	974,855

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クラウド事業	ポイントエクス チェンジ事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,588,077	16,254	1,604,332	—	1,604,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,588,077	16,254	1,604,332	—	1,604,332
セグメント利益	290,076	20,418	310,494	△250,985	59,509

(注) 1. ポイントエクスチェンジ事業のセグメント利益の額の算定にあたっては、ポイント引当金戻入額を当該事業セグメントの費用に含めております。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社マークアイを子会社化したため、同社を連結の範囲に含めております。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「クラウド事業」のセグメント資産が767,499千円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「クラウド事業」において、株式会社マークアイの株式取得に伴い、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間にて当該子会社株式の追加取得を行っております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、500,207千円であります。